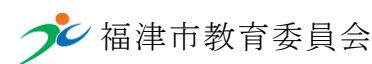


## 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果の概要



全国学力・学習状況調査（以下、本調査）は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に行っています。さらにそのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立していくことを目的にしています。

本調査は、令和3年5月27日に文部科学省が、小学校6年生と中学校3年生の児童・生徒を対象とし、小学校調査は、国語、算数の2教科、中学校調査は、国語、数学の2教科で実施したものです。また、学力調査だけではなく、児童生徒の学習意欲や生活習慣及び学校の状況や取組等についても調査しています。

本調査結果は、文部科学省から、8月24日に市町村教育委員会に、8月27日に各学校に提供されました。

これを受け福津市教育委員会は、本調査結果の概要を公表いたします。

福津市は、「志をもち、未来をたくましく切り拓く子ども」の育成を目指しています。公表においては国語、算数・数学の学力調査の結果だけではなく、児童・生徒質問紙から福津市が目指す子ども像と関連の深い項目を取り上げています。これは、保護者・地域の皆様に、福津市の子ども達の学力や学習の状況をお知らせすることで、福津市の教育への関心を高め、地域ぐるみで子ども達の育ちを支える「コミュニティ・スクール」の充実・発展につなげたいと考えたからです。

なお、児童・生徒質問紙については、調査結果を基に福津市教育委員会の分析・考察を述べております。この分析・考察はあくまでも一つの側面ではありますが、これを基に子ども達のために何ができるか、何が必要か、保護者、地域の皆様が考える手がかりにして頂きたいと思えます。

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果

## 1 本調査結果の見方

本調査は実施教科のうち国語，算数・数学では，平成31（令和元）年度より「主として『知識』に関する問題（A問題）」と「主として『活用』に関する問題（B問題）」の区分を見直し，本年度も一体的な調査問題として構成されています。

出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等を見るものです。また，知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等を見るものになっています。

## 2 教科区分毎の標準化得点

※ 標準化得点…全国の平均正答数を100としたときの本県の平均得点のこと

### (1) 小学校

	国語	算数
福津市	111.0	109.8
福岡県	101.1	100.9
全国	100.0	100.0

### (2) 中学校

	国語	数学
福津市	101.1	102.2
福岡県	101.1	102.2
全国	100.0	100.0

なお，表内の数値は，各教科区分における標準化得点を示していますが，これらの数値はあくまでも学力の特定の一部分であり，本市の教育活動全てを評価するものではありません。

## 3 調査結果を受けて

本調査結果をみると，小学校では国語が県や全国と比べて上回っています。算数については，県や全国と比べてやや上回っている結果です。

中学校については，国語，数学において，県や全国と比べてほぼ同じ結果です。

今後は，学校ごとの調査結果について詳細な分析を行い，学校全体で分析結果を共有するとともに，学力向上プランの改善，活用に取り組みます。さ

らに、福津市学力向上スタンダードに基づいた「表現する（書く）活動」を重視した授業改善，ICTを活用した授業実践など，日々の授業改善等に取り組みます。

また，学校・地域・家庭と連携・共働した学力向上の組織的な取組についても，市内全ての小・中学校で一層推進していきます。

福津市教育委員会としましても，学力向上の取組を推進するために，本調査結果に基づき，授業改善及び授業力向上に資する研修を行っていきます。

## 数字でみる福津市の子ども【小6・中3】（令和3年5月現在）

### 福津の子は「志をもち、未来をたくましく切り拓く子ども」として どのような成長を遂げているのか

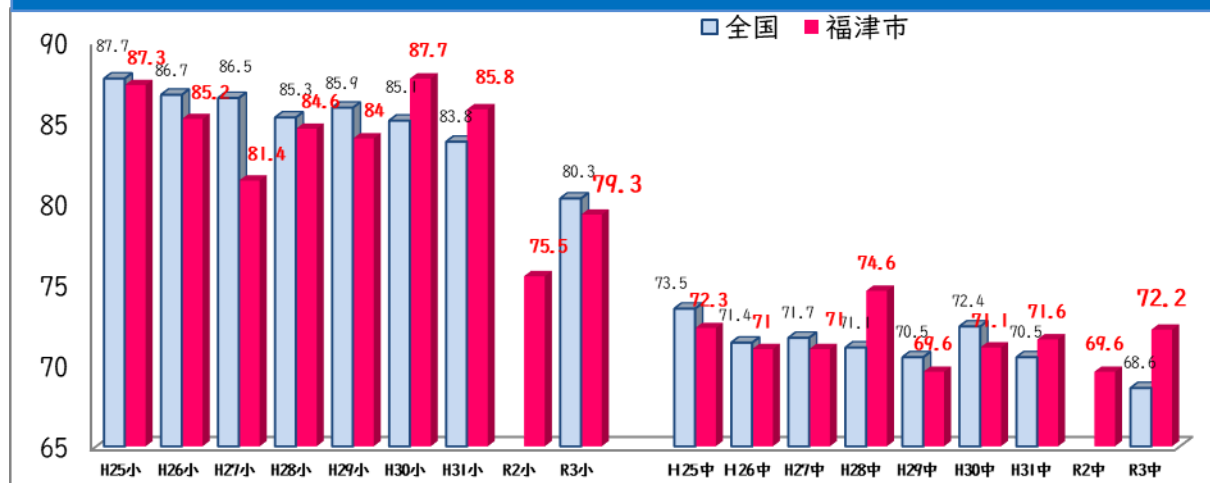
令和3年5月に小学校6年生，中学校3年生の全児童・生徒を対象に行われた全国学力・学習状況調査の「児童・生徒質問紙」の集計結果をもとに福津市の子どもの実態をみてみます。

この結果のみで「志をもち、未来をたくましく切り拓く福津の子ども」の全容を把握することはできませんが，実態を把握する上での指標となると考えます。

### ◆ 「認め合い，鍛え合い，創造する子ども」

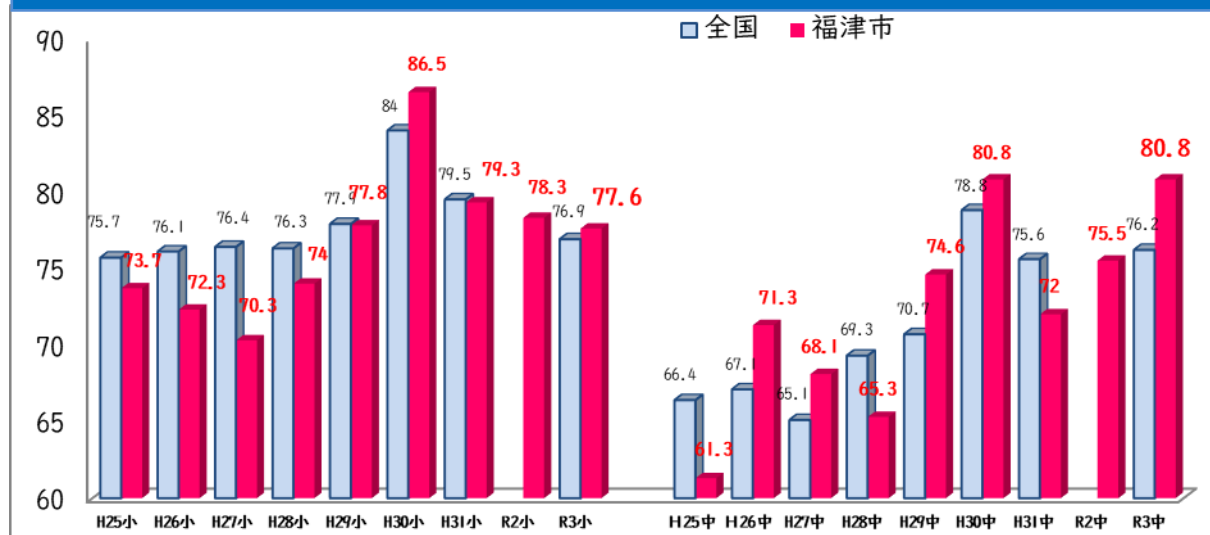
#### 将来の夢や目標を持っている。

（当てはまる，どちらかといえば当てはまる）



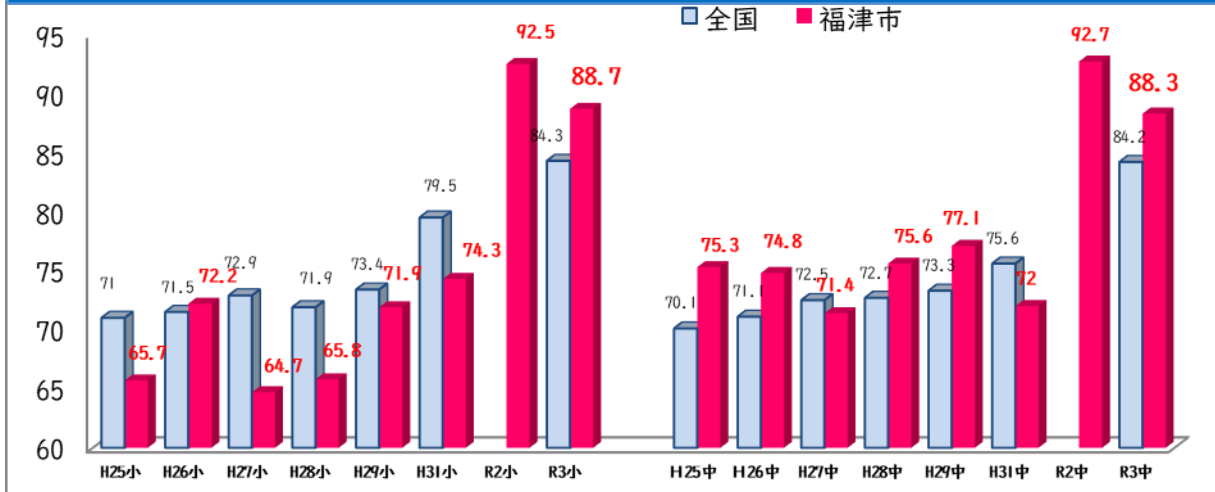
#### 自分にはよいところがあると思う。

（当てはまる，どちらかといえば当てはまる）



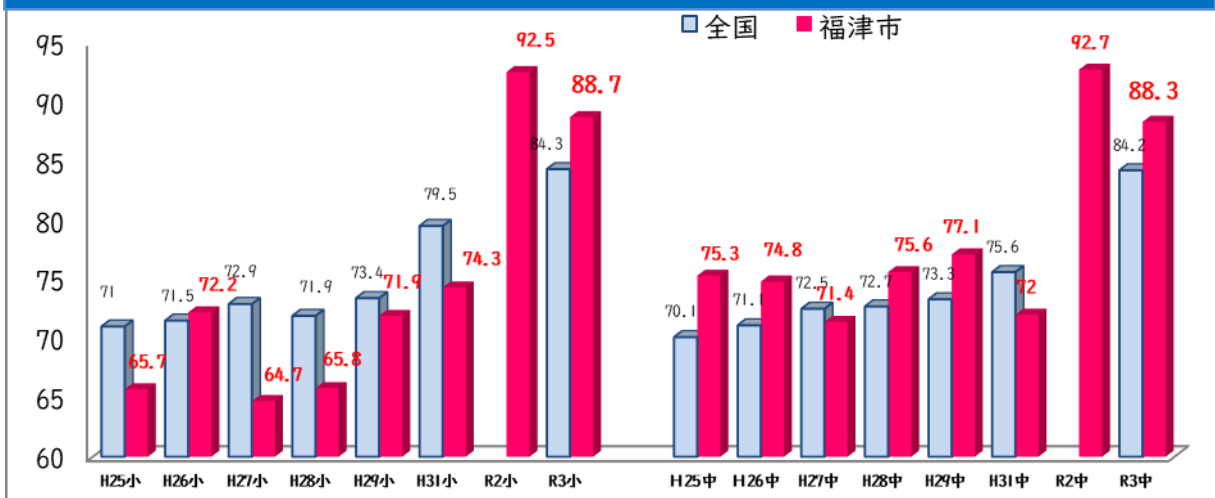
自分でやると決めたことは，やり遂げるようにしている  
（当てはまる，どちらかといえば当てはまる）

（～H31 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。）



学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思う。

（当てはまる，どちらかといえば当てはまる）

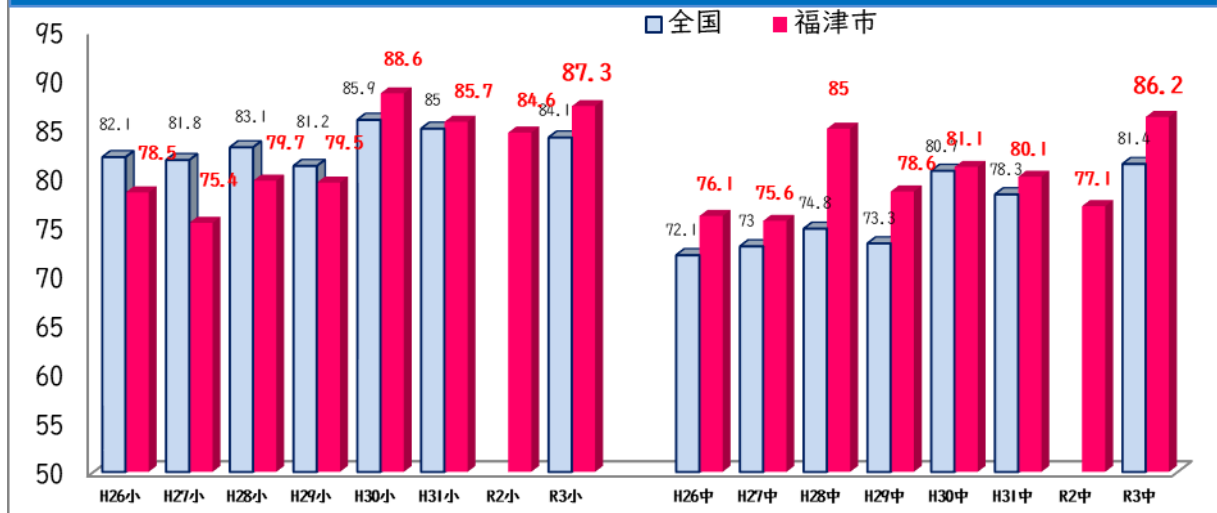


□「夢や目標を持っている」の項目は，小学校では全国平均を下回っていますが，中学校では上回っています。「自分にはよいところがある」「自分でやると決めたことは，やり遂げるようにしている」の項目は小・中ともに上回っています。これらのことから，キャリア教育等の成果が見られます。今後も活動や実践の振り返り（自己評価や他者評価，教師の価値付け等）を丁寧に行い自己存在感や自己有用感を高めていきます。

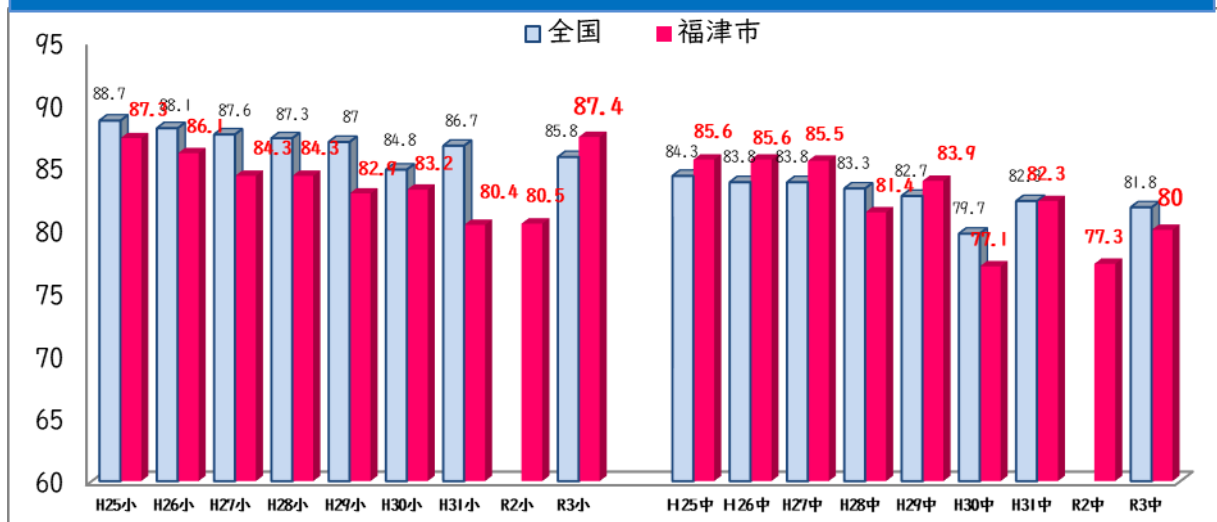
□「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思う。」の項目は，小・中学校で全国平均を上回っています。今後も，さらに「粘り強く学習に取り組む態度」の育成に向けた授業改善を各学校で取り組んでいきたいと考えています。

◆ 規範意識や社会性を身に付けた子ども

いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。  
（当てはまる）



毎日朝食を食べている。  
（当てはまる）

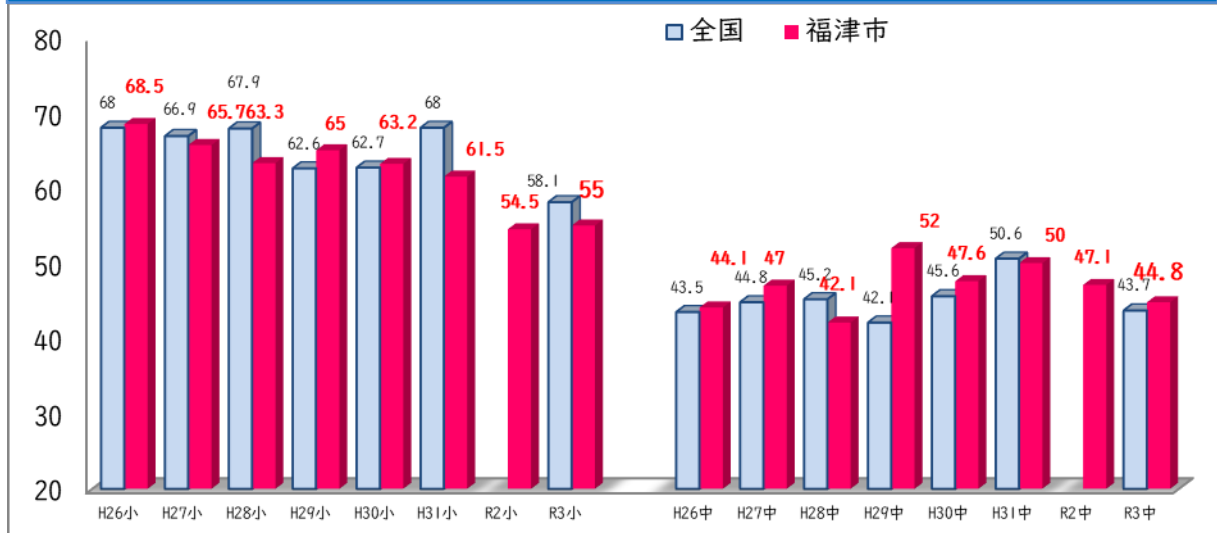


□「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について、小・中学校ともに85%以上の子どもが「いけない」と判断しており、規範意識の高まりがみられます。すべての子どもが、いじめはどんな理由があっても許されない行為であるという強い認識をもてるよう、全教育活動を通じた指導を継続していきます。

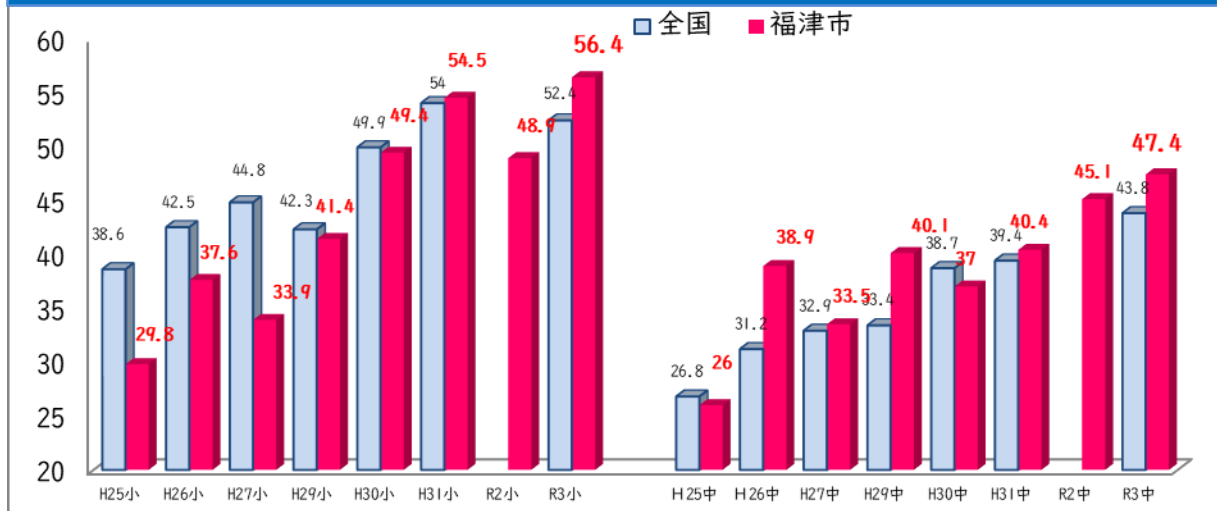
□「毎日朝食を食べている」の項目は、小学校では全国平均を初めて上回りましたが、中学校では全国平均を下回っています。子どもたちの健やかな成長のために「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした規則正しい生活習慣を身につけさせていきたいと考えています。

## ◆ 福津のよさに学び，貢献する子ども

今住んでいる地域の行事に参加している。  
（当てはまる，どちらかと言えば当てはまる）



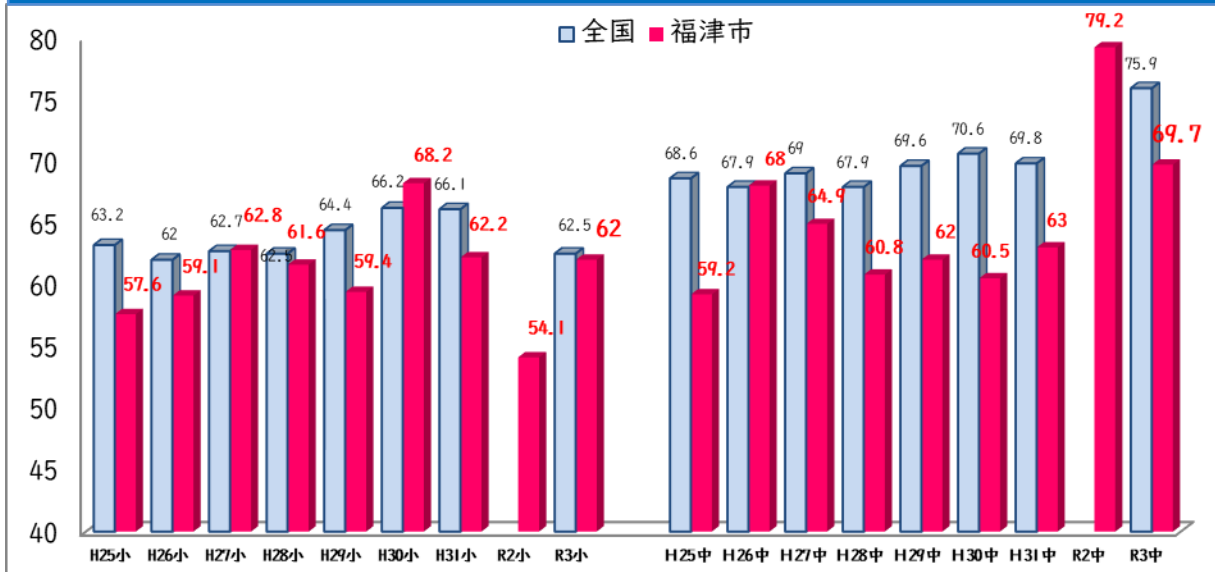
地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある。  
（当てはまる，どちらかと言えば当てはまる）



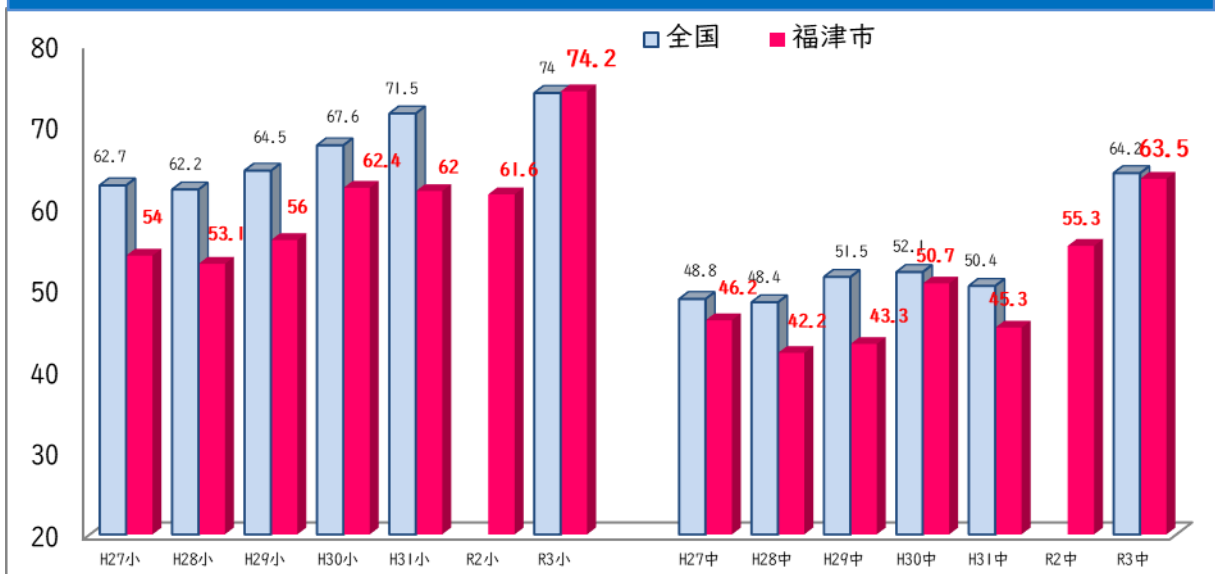
- 「地域の行事に参加している」の項目は，コロナ禍の影響もあり，昨年に引き続き低く推移しています。今後は，生活科，総合的な学習の時間をはじめとする「ふるさと学習」を中心に，地域の行事を大切に思う子どもたちを引き続き育てていきたいと考えています。
- 「地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある」については，小・中学校ともに全国平均を上回りました。これは，小・中9年間のコミュニティ・スクールの取組の成果であり，地域に貢献する喜びや地域の一員としての自覚をもった子どもの育成にもつながっていると考えられます。

## 平日の家庭学習時間

（1時間以上している）



## 家庭で自分で計画を立てて学習している。（当てはまる）



□規則正しい学習習慣について、「平日1日あたりの家庭学習の時間」の項目では、「1時間以上している」割合が、小・中学校ともに全国平均を下回っています。家庭学習を進める上での学校の指導の在り方を見直し、またICT機器の活用も含めて、家庭・地域と協働した取組を充実させていきます。

□「家庭で自分で計画を立てて学習をしている」の項目については、全国平均とほぼ同じ結果でしたが、昨年度までと比較すると大きく伸びています。コロナ禍において、家庭学習における計画の重要性を感じたと考えられます。これを機会に、計画的な学習の取り組みを充実させるために、各学校でも指導していきたいと考えます。